

第1部門A 伝統・日本

35円 金魚 ちかとも かつひこ 近友 勝彦 (岡山県) ③

本作品は、昭和27年(1952)5月10日に発行された“35円 金魚”切手を製造面と使用面から追求した専門コレクションである。内容はカラートライアル、原乾板の分類、定常変種、製造バラエティ、各種使用例を中心に纏めた。平成9年(1997)の全日本切手展「35円 金魚」において、“印刷庁銘”、及び“大蔵省銘”の同じpos.88に「郵に刀傷」が存在することを初めて示して以来、27年振りの再出品である。注目のアイテムは、(1)カラートライアルの18枚ブロック、(2)印刷庁銘P(1)・P(2)、大蔵省銘P(2)・P(3)の銘版付10枚ブロックの各々Aシート・Bシート全8種類揃い、(3)即日速達の広島郵政局管内での使用例、(4)国内航空便、(5)はがきの配達証明、(6)墜落事故機に搭載されていた国際航空便、(7)国交回復前のソビエト連邦宛はがき等である。

35円 金魚

【表示の目的】
本作品は、昭和27(1952)年5月10日に発行された“35円金魚”切手を製造面と使用面から追求した専門コレクションである。

【発行の状況】
昭和26(1951)年11月1日の国内郵便料金の改定により、郵便20gまでの基本料金が10円、運送料金が25円となり、普通郵便料金が35円に、また、郵便料金が35円となった。
同日の郵便料金改定により、郵便表示に該当する郵便物の郵便料金が異なる、郵便物の郵便料金を表示するようになった。
そのため、昭和27(1952)年5月10日に、“第1次発行郵便物の一環として、“35円金魚”切手が発行された。
しかし、昭和26(1951)年6月1日の国内郵便料金の改定により、上記の郵便料金が修正された。同年10月1日の国内郵便料金の改定により、郵便表示には郵便物の郵便料金を表示するようになった。この切手は郵便物に貼付され、昭和27年(1952)年5月10日に発行された郵便物に貼付された。この切手は郵便物に貼付され、昭和27年(1952)年5月10日に発行された郵便物に貼付された。

【製造面の分類】
印刷方法は、普通郵便に使用されるグレース印刷を採用し、普通郵便としては、紙位1枚、50枚に満たない30枚程度の切手として製造された。
紙位はグレース印刷で、スキャン精度は200dpi、方向は245度、目打ち式は普通郵便のみである。
用紙は印刷局の在庫、製版はアズビエ印刷局のアズビエシステム(インク)製版機、印刷は印刷局の設備から“大蔵省印刷局製造”として発行された。
なお、原乾板定常変種・使用例定常変種を数多く含むが、この切手は特許である。

【作品の構成】
東京35円金魚シートに3枚に分割した。
第1グループ：タイトル、製造面の分類 (11～15ページ)
1-1 カラートライアルのみほん 1-2 原乾板の分類 1-3 定常変種
1-4 製造バラエティ
第2グループ：印刷局の各種使用例 (17～32ページ)
2-1 定常変種 2-2 製造バラエティ 2-3 即日速達
第3グループ：印刷局の各種使用例 (33～48ページ)
3-1 航空便 3-2 郵便 3-3 国際航空便

【収録アイテム】
1. カラートライアルの18枚ブロック (2ページ)
2. 印刷局P I版、大蔵省P II版、P III版の銘版付10枚ブロックの各々Aシート・Bシート全8種類揃い (3～8ページ)
3. 即日速達のみほん (19ページ)
4. 国際航空便 (24ページ)
5. はがきの配達証明 (27ページ)
6. 墜落事故機に搭載された国際航空便 (37ページ)
7. 国交回復前のソビエト連邦宛はがき (38ページ)

【主要参考文献】
岡山県三氏 郵便研究 金魚35円切手の製造面と使用面から追求した専門コレクション 2007-4 (77頁)
岡山県三氏 郵便研究 金魚35円切手の製造面と使用面から追求した専門コレクション 2008-4 (83頁)

1-1-1 カラートライアル・みほん

カラートライアル

真紅色

深紅色

赤味緑色

みほん

「みほん」の発行数は、15,800枚

番号	原乾板	印刷	シート	表示
①	P I版	印刷庁銘	A	3ページ上
			B	3ページ下
②	P II版	(大蔵省印刷局製)	A	4ページ上
			B	4ページ下
			A	5ページ上
			B	5ページ下
③	P III版	大蔵省銘	A	6ページ上
			B	6ページ下

本作品は、2種類の原乾板をP I版、P II版、P III版に表記する。原乾板はシート上下2面構成であり、シートAシートBと表記するが、相対的・便宜的なものである。

2-1-3 速達郵便

即日速達(奇数日)

岡山県三氏 郵便研究 岡山・日本 昭和26.6.11
【料金内訳】 書状10円+速達25円=35円(20gまで)
【料金適用】 昭和26.11.1～36.5.31

即日速達(偶数日)

岡山県三氏 郵便研究 岡山・中国 昭和26.8.2
【料金内訳】 書状10円+速達25円=35円(20gまで)
【料金適用】 昭和26.11.1～36.5.31

即日速達郵便は、昭和25年1月10日から名古屋郵政局管内で、同年4月に松山郵政局管内、同年4月に広島郵政局管内と熊本郵政局管内、同年5月に大塚郵政局管内と札幌郵政局管内、昭和27年4月1日から東京郵政局管内で開始され、昭和27年11月1日から全国実施された。仙台郵政局管内、長野郵政局管内、金沢郵政局管内は発行数がなく、いかなる全国実施期もスタートしなかった。
なお、地方郵政局管内での使用例は少ない。

3-1-2 航空便

琉球地帯宛 書留書状

SHINKU 17.XI.58 → 沖縄
【料金内訳】 航空郵便料25円+書留48円=73円(10gまで)
【料金適用】 1953.7.1～1959.3.31

第1地帯宛 書状 [補封封紙貼付]

NISHIYODOGAWA 19.XI.58 → 中華人民共和国
中華人民共和国宛 郵便物 補封紙貼付 郵便部門 11-24
【料金内訳】 航空郵便料35円(10gまで)
【料金適用】 1953.7.1～1959.3.31